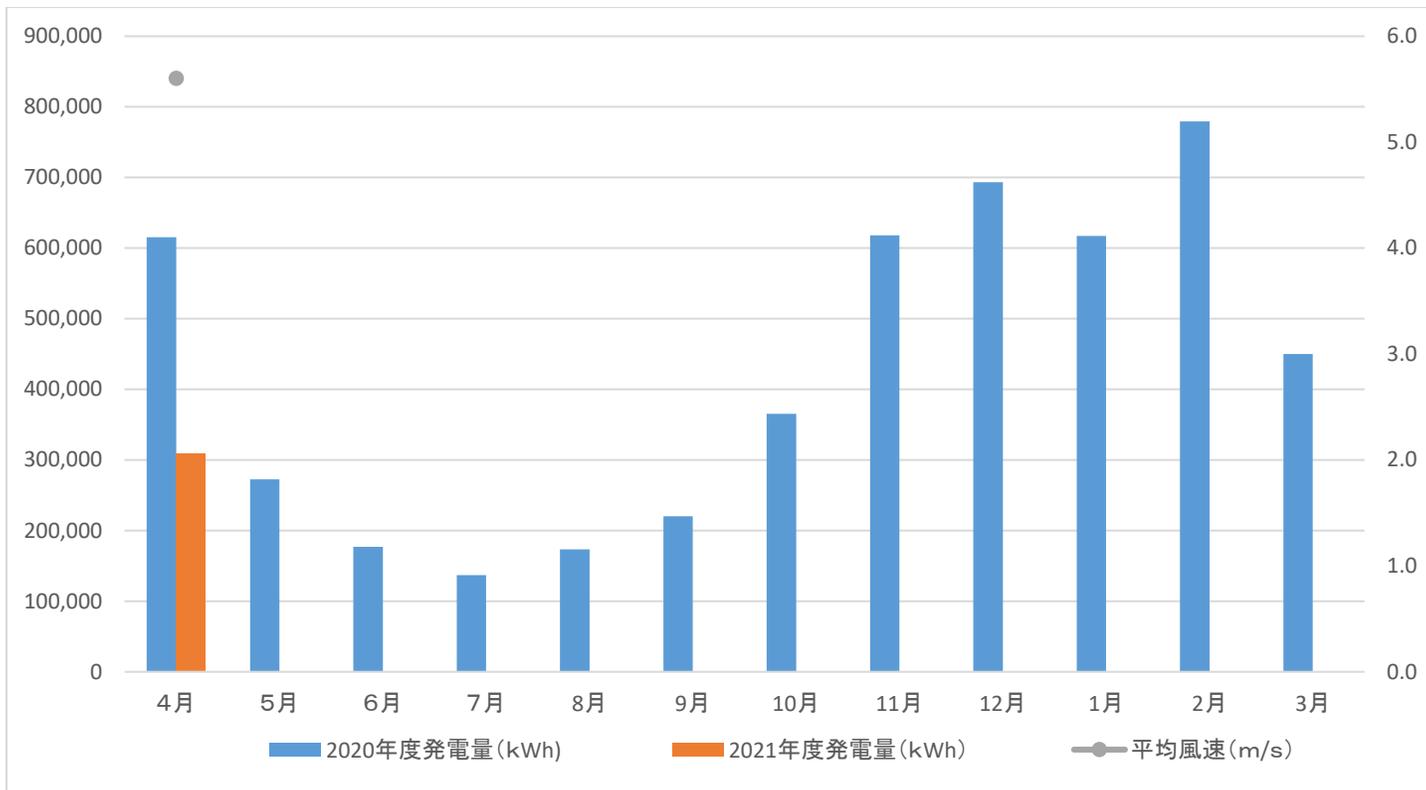


秋田県にかほ市に生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉が建設した生活クラブ風車「夢風」に関するニュースをお届けします。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-6-9 大内ビル3F 一般社団法人グリーンファンド秋田

発行責任者 半澤彰浩(代表理事) 編集責任者 鈴木伸予

○ 2021 年度発電実績



4月度運転状況について

- 平均風速は前年より1.9m/s 低い実績でした。
- 前年は風況が良く発電量が高かったため、今年の実績は前年比50.3%と低くなりました。
- 4/12～16は、9.0年次定期点検を実施しました。

	発電量 (kWh)	平均風速 (m/s)	稼働率 (%)
4月	309,276	5.6	92.4
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

5/10、山形県と秋田県を結び、秋田県側で閉鎖されていた「鳥海ブルーライン」が全面開通となりました。

「鳥海ブルーライン」は山形県遊佐町と秋田県にかほ市を結ぶ約35キロの山岳道路で、先月28日、秋田県側の区間に雪崩の恐れがあるとして、山形県側だけが開通していましたが、鳥海山4合目付近の大平山荘から、秋田県の冬季閉鎖区間まで3.3キロが通れるようになり、全面開通となりました。

にかほ市と生活クラブとの連携推進協議会幹事会報告

4月30日、2020年度第2回幹事会をオンラインで開催しました。

初めに、にかほ市の本田副市長よりご挨拶を頂きました。続けて、にかほ市の幹事メンバーの交代があったことから、全員の自己紹介を行いました。

主な議案は、生活クラブ風車「夢風」の稼働状況報告、2020年度連携推進協議会のまとめと2021年度活動計画案、生活クラブにかほ院内風力発電の進捗報告、にかほ市まちづくり基金の執行状況報告、ゾーニング事業報告と条例の検討状況報告です。

にかほ市のまちづくり基金の今年度の執行は、花いっぱい運動事業として国道と自治会への花の配布と、教育環境整備事業として金浦中学校と象潟中学校の生徒用の机と椅子を予定するとの報告があり、生活クラブからは、にかほ市に立地する再生可能エネルギー事業から拠出した基金からの費用であることを、中学校へ広報頂きたいとの意見を確認しました。

にかほ市の副市長からのご挨拶でもありました、JR東日本の「大人の休日倶楽部」のCMで、にかほ市象潟の九十九島を俳優の吉永さゆりさんが訪れました。

鳥海山の麓、100余りの島々がまるで田園に浮かぶように見える、九十九島。紀元前の山体崩壊で山頂から滑り落ちてきた巨大岩塊の集積で「流れ山」と呼ばれる小山の集まりが、東西1km南北2kmにわたり海の中に浮かぶ入り江を形成しました。



さらに1804年、象潟大地震がおこり、約2m以上隆起して、干潟(陸地)になり現在の姿となりました。地盤隆起によってできた干潟を、農地として開墾したことで生まれた絶景です。国の天然記念物にも指定された摩訶不思議な景色は、いわば自然のダイナミズムと人々の営みによってできた合作アート。島々を巡るルートをゆっくりと歩きながら、あなたも悠久の時に想いを馳せてみませんか。

グリーンファンド秋田理事会報告

5月7日、2020年度第4回理事会をオンラインで開催しました。

主な議案である、「夢風」の増速機の事故報告と対応、2020年度報告と決算書類、2021年度方針と予算案、改選期に伴う新役員については、理事会で承認し、5/21の第13期定時社員総会の議案に反映し提案することを確認しました。

また、生活クラブ風車「夢風」の買電先を東北電力(株)から(株)生活クラブエナジーに変更しました。風力発電設備は、風向に合わせてナセルの方向を変えたり、風の強さによってブレードの角度を変えます。運転データや様々な情報をインターネットで通信しています。それらに使用する電力は、基本、買電しています。今回の変更で、売電も買電も(株)生活クラブエナジーとなりました。

グリーンファンド秋田の役員の方からのメッセージを掲載します。



千葉県からエネルギー政策を考える

理事 山崎倫一（生活クラブ千葉 常務理事）

2021年夏、国のエネルギー政策の基礎となるエネルギー基本計画の改定が見込まれています。生活クラブでは「未来へつなげる♪エネルギーアクション！」と銘打ち、再生可能エネルギー比率目標引上げ、原発の廃止と石炭火力段階的縮小、再生可能エネルギーの主力電源化に向けた政策転換、これら生活クラブが掲げた旗印を国の次期基本計画に反映させるべく、大勢の組合員の声を上げる活動を組んでいます。今まさにそのアクションの真っ只中です。署名活動の展開、学習会の開催、パブコメの実施など様々行い、各地域の自治体に国に対して意見書を提出することを要望する意見書提出活動も、そのアクションの一つです。

私の住む千葉県は、温室効果ガスの算定排出量（特定事業所）が全国1位（2017年度温室効果ガス排出量の集計結果・環境省）、電気事業者の発電電力量も全国1位（2020年12月・資源エネルギー庁）と、使うのも作るのも都道府県トップです。それはCO₂を大量に排出する大型の火力発電所が多く存在していることに要因し、温室効果ガス削減を語る上で欠かせない県といえるでしょう。

4月某日、千葉県の環境政策部の職員と、千葉のエネルギー施策についてお話を伺う機会を持ちました。すでに2030年度を目標年次とした計画（千葉県地球温暖化対策実行計画～CO₂CO₂スマートプラン～）が立てられており、国の削減目標（2030年度に2013年度比26%の温室効果ガス排出量削減）を受け、千葉県は22%の削減目標を立てています。すでに2016年度に2013年度比11.5%の削減率で、順調に削減ができていると仰っていました。ではなぜ国の削減目標より少ないのかというと、産業構造（製造業比率が高い）が違うので止むを得ない、懸命に排出量を減らしても限界がある、とのこと。2030年以降の計画は未着手、それは国の政策に沿って立てるそうで、ますます次期のエネルギー基本計画改定への生活クラブの働きかけが重要と感じます。大勢の声でうねりを起こしていかなければなりません。

いま生活クラブ千葉では、農産物の生産者の圃場にソーラーシェアリングを設置する計画をしています。すでに2019年に接続契約が締結され事業計画は認定済み、FIT単価「14円/kWh」が確定されました。千葉県のほぼ中央に位置するこの八街市（やちまたし）に『生活クラブ虹と風のファーム』と名付け、F（農産物の生産と加工品の製造）、E（生活クラブでんきの共同購入）、C（ユニバーサル就労）のFEC自給圏の具現化・モデルづくりを、生活クラブ千葉と社会福祉法人生活クラブとともに進めています。系統連系長期化の影響で建設工事に着手できない状況ではありますが、ここを地域住民含めたくさんの方が集える場所にしたいと希望をもっています。FEC自給圏の縮図を思わせるこの構想にご期待ください。

【追記】

この文章を書き終えた翌々日、4月22日に菅総理大臣が2030年に向けた温室効果ガスの削減目標について、政府の地球温暖化対策推進本部の会合にて、2013年度比で46%削減することをめざすことを表明しました。6年前に決定した目標（26%減）を大幅に上回りますが、まだまだ再生可能エネルギーの導入促進、脱石炭火力へは課題です。パリ協定の目標達成には62%削減が必要です。また、総理は再生可能エネルギーを更に進めると語ったものの、「原発再稼働は従来通り」と述べたのが不安の種です。

夢風ブランド品の班個配の注文のご紹介

夢風ブランド品は、夢風の建設地である秋田県にかほ市と生活クラブとの地域間連携を広げていくための材として、生活クラブ組合員とにかほ市の生産者が共同で開発した品目です。生活クラブ風車「夢風」を縁として、生活クラブがにかほ市を応援するような取り組みを表現すること、また組合員が生産者やにかほ市と交流することで生活クラブ風車やにかほ市への共感を広げる事を目的として、2016年度より取り組んできました。

2021年度も単協独自品の取り組みとして、班個配、デポーで年間を通じて取り組みを企画しています。

班個配の6月1回企画では、生活クラブ千葉の組合員とにかほ市の日南工業株式会社で共同開発した夢風ブランド品の「鰯しよつろ」をアピールしています。日南工業の服部進一さんからは「秋田県で水揚げされた真鰯と真塩だけで作りました。鰯しよつろは数ある魚醤の中でもとくにうまみ成分を多く含み、特有のクセがほとんどないのが特徴です。和、洋、中を問わず、幅広い料理にお使いいただけます。」とコメントを頂いています。

このほかに、夢風ブランド品の「タラメン」「はたはたおいる漬け」「純米大吟醸夢風」とにかほの特産品の「きさかたうどん」「無

添加甘酒」の取り組みがあります。申し込み締め切りは、来週 5/24~28 です。ぜひ、ご注文下さい。

コラム 2020 年度版エネルギー永続地帯報告書

千葉大学倉阪研究室と認定 NPO 法人環境エネルギー政策研究所は、日本国内の市町村別の再生可能エネルギーの供給実態などを把握する「永続地帯」研究を進めており、2020 年度版報告書が 4 月に発表されました。

地域的エネルギー自給率の都道府県別ランクで秋田県が 1 位となりました。自給率トップ 3 都道府県は 40%を超え、トップ 10 都道府県が 30%を超えました(自給率ランク 1 秋田県 45.1%、2 大分県 43.3%、3 鹿児島県 41.5%、4 群馬県 37.6%、5 宮崎県 37.0%、6 三重県 34.0%、7 福島県 32.8%、8 熊本県 31.0%、9 栃木県 30.4%、10 茨城県 30.3%)。また、エネルギー永続地帯 138 市町村のうち、食料自給率も 100%を超えた市町村(永続地帯)は 10 市町村増加し、2019 年度に 80 市町村になりました。(表 2)。域内の民生・農林水産業用電力需要を上回る再生可能エネルギー電力を生み出している市町村ランキングでは、「にかほ市」は全国で第 54 位となっています。

表2 永続地帯市町村一覧(エネルギー永続地帯市町村のうち、食料自給率も 100%を超えた市長村)

- 【北海道:16】稚内市、紋別市、茅部郡森町、檜山郡江差町、檜山郡上ノ国町、久遠郡せたな町、磯谷郡蘭越町、虻田郡ニセコ町、苫前郡苫前町、天塩郡幌延町、有珠郡壮瞥町、勇払郡安平町、様似郡様似町、河西郡更別村、中川郡豊頃町、白糠郡白糠町、【青森県:6】西津軽郡深浦町、上北郡七戸町、上北郡横浜町、上北郡六ヶ所村、下北郡東通村、三戸郡新郷村、【岩手県:5】八幡平市、岩手郡雫石町、岩手郡葛巻町、九戸郡軽米町、二戸郡一戸町、【宮城県:3】刈田郡蔵王町、刈田郡七ヶ宿町、黒川郡大郷町、【秋田県:5】湯沢市、鹿角市、**にかほ市**、山本郡三種町、山本郡八峰町、【山形県:3】西村山郡朝日町、最上郡大蔵村、飽海郡遊佐町、【福島県:4】南会津郡下郷町、河沼郡柳津町、田村郡小野町、双葉郡川内村、【栃木県:3】那須烏山市、塩谷郡塩谷町、那須郡那珂川町、【群馬県:3】吾妻郡長野原町、吾妻郡嬬恋村、利根郡昭和村、【富山県:1】下新川郡朝日町、【石川県:2】羽咋郡志賀町、羽咋郡宝達志水町、【山梨県:1】北杜市、【長野県:5】南佐久郡小海町、小県郡長和町、上伊那郡飯島町、上水内郡信濃町、下水内郡栄村、【三重県:1】多気郡多気町、【鳥取県:1】西伯郡伯耆町、【岡山県:2】苫田郡鏡野町、久米郡久米南町、【徳島県:1】阿波市、【愛媛県:1】上浮穴郡久万高原町、【高知県:1】幡多郡大月町、【福岡県:1】田川郡赤村、【熊本県:6】阿蘇郡小国町、阿蘇郡西原村、上益城郡山都町、球磨郡錦町、球磨郡水上村、球磨郡相良村、【大分県:2】豊後大野市、玖珠郡九重町、【宮崎県:3】児湯郡川南町、児湯郡都農町、西臼杵郡五ヶ瀬町、【鹿児島県:4】出水郡長島町、姶良郡湧水町、曽於郡大崎町、肝属郡南大隅町